



民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp
民主党愛知県総支部連合会
名古屋市東区泉1-12-34
セントラルアベニュー1223 9F
電話 052-951-7881



[\[臨時党大会\]](#)を九月二五日に開催。小沢一郎氏の再選を承認。新体制のスタート！ / [やるぞ!! 民主党、愛チカラ 2006年 全議員団会議を開催](#) / [愛知県知事選挙前犬山市長・石田芳弘\(いしだよしひろ\)氏を推薦!](#) / [民主党が参議院愛知選挙区候補を2名公認 大塚 耕平氏](#) / [民主党が参議院愛知選挙区候補を2名公認谷岡 郁子氏](#) / [トピックス](#) / [編集後記](#)



contents

2…やるぞ!! 民主党、愛チカラ 2006年 全議員団会議

3…愛知県知事選挙、石田芳弘氏を推薦決定

4～5…参議院選挙区候補（愛知県）を2名公認

6…トピック・編集後記

やるぞ!!民主党、愛チカラ 2006年 全議員団会議を開催



記者会見で自己紹介をする県・名古屋市会候補予定者たち

10月14日、市内ホテルにて統一地方選「第4次候補」発表と新人候補予定者36名で組織する勉強会「新風あゆち」の記者発表が行われ同時に、知事選、統一地方選、参議院選の総合対策本部(本部長:近藤昭一県連代表)の立ち上げ発表が行われた。

来年は3大選挙の年となり、2月には知事選挙、4月には統一地方選挙、7月には参議院選挙が行われる。

知事選では32年ぶりに独自の「現職を超える候補者」として石田芳弘・前犬山市長の推薦擁立が決定した。(3Pに特集掲載)また、統一地方選では県議会での自民党過半数割れをめざし、公募とあわせ、過半数に及ぶ候補者擁立をすすめ、名古屋市会では第一会派の堅守を目指している。参議院選では現職・大塚耕平氏と新人・谷岡郁子氏(中京女子大学長)の二人を公

認擁立。(4~5P特集掲載)政権交代にむけ向け全党一丸となって取り組みをおこなっている。

全議員団会議では県連代表の近藤昭一衆議院議員が所属議員に熱く呼びかけを行い、民主党副代表で県連常任顧問でもある赤松広隆衆議院議員からは今回の全議員団会議を政治決戦のスタートと位置づけ、更なる奮起を会場に呼びかけ、来賓には連合愛知・堀下猛会長も駆けつけ「力を振り絞り、全候補者を当選させる」とエールが送られ満場の拍手とともに閉会となった。

[top](#)

愛知県知事選挙

いしだよしひろ

前犬山市長・石田芳弘氏を推薦！

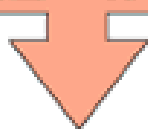


プロフィール

1945年10月13日生まれ
1969年03月 同志社大学商学部 卒業
1947年05月 衆議院議員秘書
1983年04月 愛知県議会議員
1995年04月 犬山市長
2000年12月 愛知県治水砂防協会会長
2001年04月 愛知県観光まちづくり推進協議会会長
2003年04月 提言・実践首長会代表
2003年04月 21世紀臨調メンバー
2003年10月 文部科学省中央教育審議会臨時委員

石田芳弘のマニフェストの柱

県民の幸福度を高め、県政運営のあり方を変える7つの基本施策



- (1) 愛知の教育力を高める(少人数授業の拡大、公私の授業料格差の縮小)
- (2) 愛知の文化力・地域磁力を高める(公民共同の芸術文化事業の新しい仕組みづくりなど)
- (3) 愛知の健康・長寿力を高める(健康長寿をテーマとするモデル的な地域づくりなど)
- (4) 愛知の安心・福祉度を高める(地域安心出産態勢、コミュニティ・ケアのモデル実施など)
- (5) 愛知の安全・環境度を高める(ライフラインの安全度の点検と新技術活用による補修など)
- (6) 愛知の産業・雇用創出力を高める(「21世紀型モデル農林漁業プロジェクト」の具体化など)

(7) 愛知県庁の自治・政策力・人材活用力を高める(行財政改革、情報公開の徹底、県自治条例の制定など)

石田芳弘事務所

〒484-0083 愛知県犬山市大字犬山字東古券773

TEL 0568-61-0041 FAX 0568-61-3864

●HP <http://www.y-ishida.com>

●メール info@y-ishida.com

▲
[top](#)

民主党が参議院愛知選挙区候補を2名公認



お お つ か こ う へ い
大塚 耕平氏

民主党愛知県連・副代表

民主党愛知県参議院選挙区第3総支部長

プロフィール

1959年10月5日	名古屋市生まれ
1978年 3月	愛知県立旭丘高等学校 卒業
1983年 3月	早稲田大学政治経済学部 卒業
1983年 4月	日本銀行 入行
2000年 3月	早稲田大学大学院博士課程修了(学術博士)
2000年12月	日本銀行 退職(政策委員会室調査役)
2001年 7月	第19回参議院選挙 当選
現在	中央大学大学院客員教授(公共政策研究科) 早稲田大学客員教授(総合研究機構)

これまでの役職

政策調査会副会長、税制調査会副会長・次長、「次の内閣」金融担当副大臣、「次の内閣」総務担当副大臣、企業会計ワーキングチーム座長、金融政策検証委員会委員長(現職)、役員室室長代理・次長、文化団体局副局長・次長、国民運動委員会副委員長、参議院政策審議会副会長、参議院国対副委員長など

国民の皆さん、働く皆さんが納める税金や社会保険料が適切かつ公正に使われているかどうか、それが重要です。「格差社会」を是正し、納得できる日本をつくります！！

大塚耕平 5つの主張

1

最も優先度の高いのは国民全員に関係する社会保障の4本「柱」(医療、介護、年金、雇用)。「柱」は丈夫で長持ちがいい。

2

日本の未来を託す子どもたちの教育こそ「国家百年の大計」。

3

産業政策のポイントは「規制緩和」と「行政改革」によって企業のコストを下げること。

4

農林漁業の「再生」=地域社会の「復興」=歴史、文化の「継承」。

5

日本の外交政策の大原則は「全方位外交」と「経済外交」。

地方分権、特別会計報告、財政再建…基本的な方向は賛成です。でも、問題は中身。地方分権も、地域が主体的に進める「地域主権」が目指すべき本来の姿。これからの課題は「国民」=「納税者」の声を直接政治に届けること。困った時に支え合うための税金や社会保険料。納得できる政策制度の実現を目指します。

大塚耕平事務所 〒464-0841 名古屋市千種区覚王山通9-19覚王山プラザ2F
TEL 052-757-1955 FAX 052-751-8113

●HP <http://www.oh-kouhei.org/>

●メール kouhei@oh-kouhei.org

▲
[top](#)

民主党が参議院愛知選挙区候補を2名公認



たにおか くにこ
谷岡 郁子氏

民主党愛知県連・副代表

民主党愛知県参議院選挙区第4総支部長

- 経歴 1954年5月生まれ
- 1979年 トロント大学文理学部卒業
 - 1979年 中京女子大学専任講師(英語)
 - 1986年 中京女子大学学長(2005年より理事長兼務)
 - 1994年 愛知県レスリング協会会長
 - 2000年 愛知万博検討会議委員長
 - 2001年 文部科学省科学技術・学術審議委員
 - 2004年 国立大学法人名古屋工業大学経営協議会委員ほか

ご存知ですか？

日本の高等教育は、ルワンダ・マダガスカルと同じ水準

高等教育無償化条約に批准していないのは、世界で3ヶ国しかありません。これで、本当に若者が国を愛することができるでしょうか

微力の結集

谷岡郁子もまた、一人の微力な国民にすぎません。しかし、微力は無力ではないと信じます。民主主義とは微力を結集すること 谷岡郁子は微力の代表です。

自ずと愛せる国へ 集まれ微力 ともに一歩をふみ出しましょう！

ふつうの感覚と現場主義

自ずと愛せる国とは、国民のための国家が実感できる国です。そのためにはふつうの感覚と現場主義が必要です。今、教育の現場では「改革」のたびに書類仕事が増えて、教師が生徒と過ごす時間が少なくなっています。教育のみならず、「改革」の名のもとに起こってきたことは、書類仕事が増えて本来仕事ができなくなり、無理な勤務実態が発生することです。書類のための仕事ではありません。

現場による現場のための現場改革こそが必要です。

今、子供・若者のためにすべきこと

国や社会から大切にされない子どもや若者が、どうして国を愛することができるでしょうか。老

人世代の年金や医療費を払いたいと思うのでしょうか。そして教師たちもまた、書類仕事のために生徒たちと十分に接することができないことを苦しんでいます。

子どもに子どもらしさを返そう
若者に輝く青春を返そう
生徒に先生を返そう

谷岡郁子事務所

〒460-0011 名古屋市中区大須2-26-28 アイランド大須302号
TEL 052-212-0012 FAX 052-212-0012

[▲
top](#)

トピックス

■ ジャパン・リーダーズカレッジ「夏合宿」、「第2期生修了式」開催

8月25日から3日間、津具高原グリーンパークにて合宿を行い約30名が参加した。講師には新城市長の穂積亮次氏、公共政策プラットホーム事務局長の小田正規氏を迎え行われた。受講生の自主運営により合宿が行われ、ディベート対抗戦など白熱した議論を交わした。

9月30日は講師に北川正恭氏(前三重県知事)を招き、2期生の修了式が行われ、2期受講生が制作した「ふつうの国民が考えたニッポン」(出版元:小学館スクウェア)の出版発表も行われた。愛知県および隣県の三洋堂書店、丸善などで販売される。



■ 民主党東海ブロック道州制議員連盟を発足

「道州制を単に都道府県の合併に終わらせるものでなく、住民の近い距離で自治を行う視点から議論し、真の地方主権ができる道州制」の確立を目指すため、東海ブロック(愛知・三重・岐阜・静岡)の県議会議員で発足総会が市内ホテルで行われ約30名が参加した。会長には片桐清高・愛知県議団長が就任した。記念講演では「道州制の必要性と制度設計」をテーマに講師に昇秀樹氏(名城大学教授)を招き行われた。



■ 部落開放研究第40回全国集会

9月30日から3日間、熊本県の熊本メッセにて「部落解放をはじめ、あらゆる差別の撤廃をめ

ざす理論と実践の活動交流をすすめて、人権の法制度確立にむけた取り組みを前進させよう！」をテーマに集会が行われ、各県共闘、自治体などから約8,000人が参加した。緊急報告では、全国の被差別部落の所在地などを記載した「部落地名総鑑」のデータを収めたフロッピーディスク計三十六枚を大阪市内の調査会社から回収をしたと発表した。初日の特別提案では「差別事件・法規制・救済法制度の現状と課題—人権侵害救済法」をテーマにコーディネートに山崎公士氏(新潟大学教授)が務め各提案が行われた。2日目は12の分科会と2つのフィールドワークを開催した。

最終日は、熊本市体育館へ会場を移し「市場原理主義と社会的排除—それへの選択肢」、
「憲法問題を考える—差別撤廃の観点から」、「水俣病50年の歴史と今—差別と人権の視点から」の3案が特別報告され締めくくられた。来年は長野県で開催される予定。

[▲
top](#)

編集後記

来年は県知事選を皮切りに、統一地方選そして参議院選が行われる、まさに天下分け目の年であります。それに伴う先日の全議員団会議、そして新人候補者達の決意を聞き、改めての奮起を自分自身にも誓いました。来るべき決戦に備え、「プレス民主」を益々パワーアップさせていきたいと思います。ご期待下さい。

広報委員 牧 義夫(衆議院議員)

インターネット・アドレス

<http://www3.ocn.ne.jp/~minshu7/>
e-mail:minshu@dream.ocn.ne.jp

[▲
top](#)